



2009年2月8日

片山かおるの ちょっとカエル通信



おとな子どももいっしょに育つ町にしよう

片山かおるの市政 Watching!

ほんとに安全なの？ バイオ施設の 説明会が開催されます

片山かおると数十人の追加署名によって提出された、国立医薬品食品衛生研究所(衛生研)に説明会を求める陳情が、12月議会で採択されました。

前原町4、5丁目から数100メートルの米軍府中基地跡地(府中市浅間町)へ移転してくる予定です。

腸チフス菌、結核菌、Q熱リケッチアなど非常に危険度の高い病原菌を取り扱うP3(P=Physicalの略、「物理的封じ込め」を示す指数)施設も含む建設計画です。

府中市では、衛生研による説明会や、市民による自主的な勉強会が何度も開かれ、市民の中には不安に思う声も多いようですが、小金井市民にはまったく知らされていない計画でした。米軍基地跡地は、住宅地に密接した地域で、さらに航空自衛隊基地や米軍の通信施設も隣接しています。基地がテロなどの攻撃を受けた場合、隣接する衛生研に被害がおよばないとは言えません。

通常の実験中にも、フィルターを通して微量な菌がもれていると言われていています。火事が起こった場合、水といっしょに病原菌が流れてしまうので、通常の消火活動ができない。事故が起こって病原菌がもれても、放射能のような監視システムがないので、住民にはすぐにはわからないそうです。

住宅が密集する地域に、こういった施設が本当に必要なのだろうか、という疑問も感じます。本来は国際空港のすぐ近くに設置して、感染者が見つかったも水際で食い止める必要があること、または無人島など、まったく人の出入りがない場所に設置する、といった配慮が必要ではないかという研究者の意見もあります。

私自身も前原町に住んでいて、子どもも前原小、南中に通っています。生活圏がすっぽり危険地域に入ってしまう、

とても不安を抱えています。

小金井街道のような幹線道路沿いの施設で事故が起こった場合、感染道路となって菌が広がってしまう恐れがあるのではないか、という声もあります。知らない間にとんでもない施設ができたりしないよう、情報を共有してしっかり判断しましょう!

国立医薬品食品衛生研究所の移転に関する説明会

日時: 2月13日(金) AM10:00 ~ 12:00

2月21日(土) PM2:00 ~ 4:00

場所: 萌え木ホール(市役所本庁舎向かい)

問い合わせ: 国立医薬品食品衛生研究所総務課
(03-3700-2548)

「国立医薬品食品衛生研究所」問題・学習会のお知らせ

新井秀雄さん(元・国立感染症研究所主任研究官)、竹見智恵子さん(ジャーナリスト)などを迎えて、住宅地のすぐ側でバイオ研究しても安全なのかという疑問や、東京都が絶滅危惧Aランクに指定している希少な野鳥「コサメビタキ」が敷地内で発見されたこと、衛生研が自衛隊のNBC(核・生物・化学兵器)研究所と関係があり、共同研究をしていることなどについてお話していただきます。

日時: 2月14日(土) 午後1時半~5時

場所: 府中市生涯学習センター

主催/問い合わせ: 衛生研問題を考える会

(090-5764-8713 一ノ瀬)



片山かおると

いっしょにかえる小金井の会



〒184-0012 小金井市中町3-10-10-103
tel&fax: 042-316-1511
e-mail: office@katayamakaoru.net
http://katayamakaoru.net

片山かおるプロフィール

1966年12月長崎県生まれ。4才から杉並区で育つ。
1995年より小金井市在住。パートナーの水由章と中1と小4の男の子たち、猫たちと前原町に暮らす。8ミリ映画制作。個人・実験映画を配給。
小金井子育て交流会「す〜ぶ」、つくろう! 子どもの権利条例の会、8mmFILM小金井街道プロジェクトなどに参加。「教育ってなんだろう?」こがねい連絡会世話人、武蔵野はらっぱ祭り実行委員会事務局、One's Eyes Film代表、市民自治こがねい運営委員

「市役所建設場所を選ぶ住民投票条例」が1票差で否決！ 市長・市議会、1万人余の市民の声を無視



先日の小金井市議会の臨時議会では、直接請求による「市役所建設場所を選ぶ住民投票条例」が1票差で否決されました。この直接請求には、有権者の8分の1を超える1万人以上の署名が集まりました。

私も朝から夕方まで傍聴しましたが、150人をこえる傍聴者の数で、議場には入りきれず、いくつもの部屋に分散して、スピーカーから議事の様子を聴いていました。市民参加条例において、住民投票は市民参加の重要な方法として位置づけられています。

また、市庁舎問題に対して、市民が自ら意見を出し合い、意思を示すことは大変重要なことだと考えています。たとえ市庁舎問題に対する市長の結論が違ったとしても、1万人を超える市民が求める住民投票は、実施して、市民の声を聞くのが、本来の民主主義ではないでしょうか。

市庁舎をどこに建てるのかという、場所の問題も大事で

すが、これからの市役所はどういうあり方であればいいのか、どのような機能が必要なのかといったことも、いっしょに検討されるべきではないでしょうか。

小金井は国分寺崖線によって、坂上と坂下に分かれています。府中市や国分寺など隣接する他市の市境に住む高齢の方々や小さい子どもを抱える親にとっては、より近い地域に出張所のようなものがあつた方が、住民にとって市政が身近になり、より使いやすいものになってくるのではないかと思います。

ここで立ち止まって、もう一度、住民にとってどんな市役所であってほしいのか、なにが自分たちにとって必要なかを、市民参加で見直していくべきではないでしょうか。



お知らせ

片山かおる& 矢島助産院の矢島床子さんと語ろう!

お産のたらいまわし、産院の減少、1月から始まる産科医療補償制度など、「少子化」と言われながら、お産現場の充実にはほど遠い状態です。

国分寺で矢島助産院を営む、矢島床子さんを迎えて、理想のお産や子育て環境についてお話していただきます。ぜひご参加ください!

日時: 2月15日(日) PM2:00 ~ PM4:00 (PM1:30開場)
場所: コミュニティ湧(シャトー小金井1階)
参加費: 500円
※保育有り(要予約)
主催/問い合わせ: 片山かおるといっしょにかえる小金井の会
(042-316-1511)

応援します!

助産院での出産のお手伝いをして出会いました。女性は産み、育てる性を持っていきます。誰からも管理されない、自分らしい産み方、育て方、そして自分らしく強く生きていく。彼女は子どもを産み育てていく中で、社会の閉塞感や矛盾や疑問等を持ち、社会活動の必要性を感じ、特に教育において活動し始めました。この地域を変える希望と力を持っている人です。是非、地方自治の場で活動して欲しいと応援しています。
(矢島床子 母と子のサロン
矢島助産院助産師)

片山かおるといっしょにかえる小金井の会 (略称: かおるの会)へのお誘い

会費は年1口1,000円。カンパも大歓迎!
郵便振替口座 00120-5-357785
「片山かおるといっしょにかえる小金井の会」

小金井市議会議員選挙は
3月29日投票です。

市議会議員・漢人あきこと
「市民自治こがねい」も、片山かおるを応援しています